

救急医療の維持・充実を求める陳情書

2023年10月20日

流山市長 井崎 義治 様

社会保障推進流山市協議会
連絡先：流山社保協事務局
TEL 04-7128-7259

【陳情趣旨】

「子どもの発熱で受診先が見つからず、困った」、「高齢の親が倒れても搬送先がなかなか見つからない」等々、今、市内の救急医療が深刻です。

原因は、人口急増の一方で、救急医療の負担が民間病院や医師会に集中しているからです。また、人口比の病床数が近隣市比較でも少なすぎることも大きな要因です。

これらを充実させるには、市が負担する「救急医療に係る経費」（現在7300万円）の早急な増額が不可欠です。また救急医療の現場に、市として医師を派遣し、体制を強化することも必要です。しかし井崎市長は、『民間新病院の立地促進』は表明しても、経費増額は「考えていない」としています。

コロナ禍や物価高騰の下、流山市の財政は、年間収支が令和4年度22億3千万円と大幅な黒字となりました。10年前と比較しても黒字額は2倍近くもあり、順調な黒字経営です。豊かな財政力を活かせば、市民のいのちを守る自治体の責任は十分果たせます。

人口千人当たりの病床数	順位
流山市	5.8床 42位
松戸市	7.5床 33位
柏市	11.6床 19位
野田市	10.4床 23位
県平均	11.5床

【陳情項目】

- 1、救急医療への経費を増額してください。また救急医療を担う医師を派遣してください。
- 2、救急医療における電気等の経費相当分を市で負担してください。

氏名	住所

署名にご協力ください。

取り扱い団体（日本共産党）